



在庫の選択 NetApp HCI

NetApp
November 18, 2025

目次

在庫の選択	1
インベントリの選択とノードの互換性	1
ストレージノードの互換性	1
コンピューティングノードの互換性	1
詳細については、こちらをご覧ください	2
インベントリを選択します	2
詳細については、こちらをご覧ください	3

在庫の選択

インベントリの選択とノードの互換性

導入するノードを選択する際、同じ環境で組み合わせ可能なノード構成にはいくつかの制限があります。

ストレージノードの互換性

NetApp HCI では、SED（自己暗号化ドライブ）および FIPS 140-2 ドライブ暗号化機能を備えたストレージノードとドライブがサポートされます。NetApp HCI を導入または拡張する際 NetApp HCI には異なる暗号化レベルのノードを混在させることができますが、サポートされるのはより基本的な形式の暗号化のみです。たとえば、FIPS 暗号化対応のストレージノードと SED 暗号化のみをサポートするノードが混在している場合、SED 暗号化はサポートされますが、FIPS ドライブ暗号化はサポートされません。



FIPS ドライブ暗号化に対応したストレージノードをストレージクラスタに追加しても、FIPS ドライブ暗号化機能は自動的に有効になりません。FIPS 対応ノードを含む環境を導入または拡張したら、FIPS ドライブ暗号化を手動で有効にする必要があります。を参照してください ["Element ソフトウェアのドキュメント"](#) 手順については、を参照し

同じ導入環境で互換性を確保するためには、すべてのストレージノードが同じマイナーバージョンの Element ソフトウェアを実行している必要があります。たとえば、Element 11.3.1 を実行しているストレージノードと Element 11.5 を実行しているストレージノードを混在させることはできません。



ノードのハードウェア構成によっては、H410S ストレージノードが、H300S、H500S、または H700S ストレージノードとしてインベントリリストに表示される場合があります。

NetApp HCI では、2 ノードストレージクラスタでサポートされるストレージノードのモデルには制限があります。詳細については、を参照してください ["2 ノードストレージクラスタ"](#) または NetApp HCI バージョンの『リリースノート』を参照してください。



2 ノードのストレージクラスタ環境では、ストレージノードのタイプは 480GB と 960GB のドライブを搭載したノードに制限されます。

コンピューティングノードの互換性

コンピューティングノードをインベントリとして選択できるためには、ノードが次の要件を満たしている必要があります。

- VMware vMotion が適切に機能するように、すべてのコンピューティングノードの CPU 世代が一致している必要があります。インベントリからコンピューティングノードを 1 つ選択すると、そのノードとは CPU 世代が異なるノードは選択できなくなります。
- コンピューティングノードと GPU 対応のコンピューティングノードを同じコンピューティングクラスタ内に混在させることはできません。GPU 対応のコンピューティングノードを選択すると、CPU のみのコンピューティングノードは選択できなくなります。その逆も同様です。
- コンピューティングノードで実行されているソフトウェアのバージョンが、導入環境をホストしている NetApp Deployment Engine とメジャーおよびマイナーバージョンの両方で一致している必要があります。

す。一致していない場合は、RTFI プロセスを使用してコンピューティングノードを再イメージ化する必要があります。手順については、RTFI に関するネットアップの技術情報アートを参照してください。

- コンピューティングノードを「* コンピューティングノード *」リストで選択できるようにするには、ネットワークトポロジページで選択したケーブル構成がコンピューティングノードに含まれている必要があります。
- 同じモデルのコンピューティングノードのネットワークケーブル構成は、コンピューティングクラスタ内で同じである必要があります。

詳細については、こちらをご覧ください

- ["vCenter Server 向け NetApp Element プラグイン"](#)
- ["SolidFire および Element ソフトウェアのドキュメント"](#)

インベントリを選択します

NetApp Deployment Engine は、「* インベントリ」ページで利用可能なコンピューティングノードとストレージノードを自動的に検出し、すべての NetApp HCI リソースを選択して導入環境に追加できるようにします。導入の要件を満たしていないノードは選択できず、問題がエラーとして示されます。ノードの行のエラーにカーソルを合わせると、説明が表示されます。Inventory ページでノードインベントリを選択すると、NetApp Deployment Engine をホストしているストレージノードが自動的に選択され、選択を解除することはできません。



制限付き構成には、vSphere 7.0とH610CまたはH615Cコンピューティングノード、2つまたは3つのストレージノードが含まれます。制限された構成を続行する場合は、vSphere 6.7などの別のvSphereバージョンを選択するか、構成に少なくとも4つのストレージノードがあることによって監視ノードの導入を回避する必要があります。

必要なもの

インベントリの検出が正しく機能するためには、ジャンボフレームを有効にする必要があります。インベントリにノードがまったく表示されない場合や、一部のノードしか表示されない場合は、NetApp HCI ノードに使用されているスイッチポート（すべての SFP+ / SFP28 インターフェイス）にジャンボフレームが設定されていることを確認します。

手順

1. [* Inventory] ページで、使用可能なノードのリストを確認します。

システムがインベントリを検出できない場合は、エラーが表示されます。エラーを修正してから続行してください。IP アドレスの割り当てに DHCP を使用するシステムの場合は、ストレージリソースとコンピューティングリソースがすぐにインベントリに表示されないことがあります。

2. オプション：リソースがすぐにインベントリに表示されない場合、またはエラーに対処してインベントリを更新する必要がある場合は、[* インベントリの更新 *] をクリックします。インベントリを複数回更新しなければならない場合があります。
3. オプション：ノードタイプなどのノード属性でインベントリをフィルタリングするには、次の手順を実行します。

- a. [計算ノード *] または [ストレージノード *] リストのヘッダーで [* フィルタ *] をクリックします。
 - b. ドロップダウンリストから条件を選択します。
 - c. ドロップダウンリストの下に、条件を満たす情報を入力します。
 - d. [フィルタを追加 (Add Filter)] をクリックします
 - e. アクティブなフィルタの横にある **X** をクリックして個々のフィルタをクリアするか、フィルタのリストの上にある **X** をクリックしてすべてのフィルタをクリアします。
4. システムに付属しているすべてのコンピューティングノードを * コンピューティングノード * リストから選択します。

導入を進めるには、少なくとも 2 つのコンピューティングノードを選択する必要があります。

5. システムに付属しているすべてのストレージノードを * ストレージノード * リストから選択します。

導入を進めるには、少なくとも 2 つのストレージノードを選択する必要があります。

6. オプション：ストレージノードの選択ボックスにフラグが設定されている場合、そのストレージノードはストレージクラスタの総容量の 33% を超えています。次の手順を実行します。
 - フラグが設定されたストレージノードの選択ボックスをオフにします。
 - ストレージクラスタの容量がノード間でより均等に分散されるように、追加のストレージノードを選択します。
7. [* Continue (続行)] をクリックします

詳細については、こちらをご覧ください

- ["vCenter Server 向け NetApp Element プラグイン"](#)
- ["NetApp HCI のリソースページ"](#)
- ["SolidFire および Element ソフトウェアのドキュメント"](#)

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。